

辺塚だいたいテーマに 異業種交流サロン開催

辺塚だいたいのブランド確立を目指し、第7回肝付町異業種交流サロンが3月14日、高山やぶさめ館で開かれ、町内外から約50名が参加しました。ふじやま学校の阪本貴弘さんが講演、ブランド化には商品の見せ方やキャッチコピーなど「売れる伝え方が大事」と強調しました。また、パネルディスカッションや辺塚だいたい関連商品の展示なども行われました。



質問も盛んに出されたパネルディスカッション

戦没者追悼式 町民ら 250 名参列

肝付町戦没者追悼式が2月28日、町文化センターで行われました。肝付遺族会の高齢化等により今回から町が主催することになったもので、遺族をはじめ町民ら約250名が参列しました。遺族会の福留逸夫会長らが追悼のことは述べ、参列者が次々と献花。高山小・中学校の代表も4名参列し、高山中2年の若松株華さんが平和メッセージを朗読しました。



献詠を終えた楽笑吟友会のみなさん

志布志湾岸を サイクリング

肝付町・大崎町・東串良町を巡るサイクリング「ゆるらサイクリング in R448」が3月11日に開催されました。県内外のサイクリスト87名が参加。景色を楽しみながらサイクリングし、休憩時間にはデコポンやけせん団子、干し芋、さつまあげなどを味わい、ゴール後には温泉に入っ、志布志湾岸地域の魅力を満喫しました。



やぶさめの里総合公園をスタート

ホワイトデーに楠隼生 交通安全呼びかけ

楠隼高校の福元海人生徒会長ら1、2年生17名が参加して、3月14日、交通事故防止キャンペーンが前田地区の県道沿いで実施されました。生徒たちは交通安全を呼びかけるのぼりを手に沿道に立ち、「運転お疲れ様です。早めのライト点灯を」などの手書きメッセージを添えたクッキーをドライバーへ手渡しました。



交通安全を呼びかける楠隼高校生たち